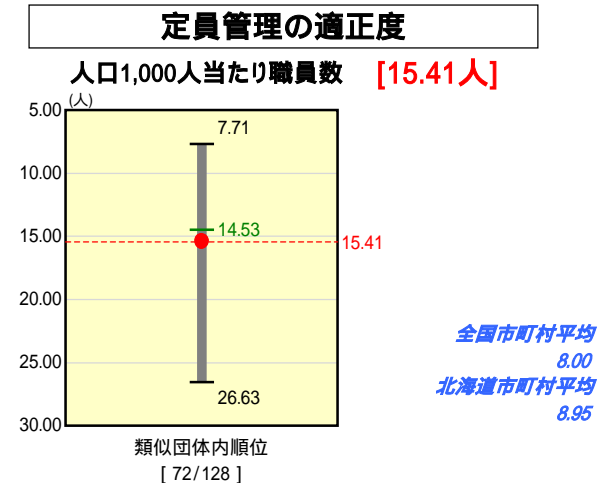
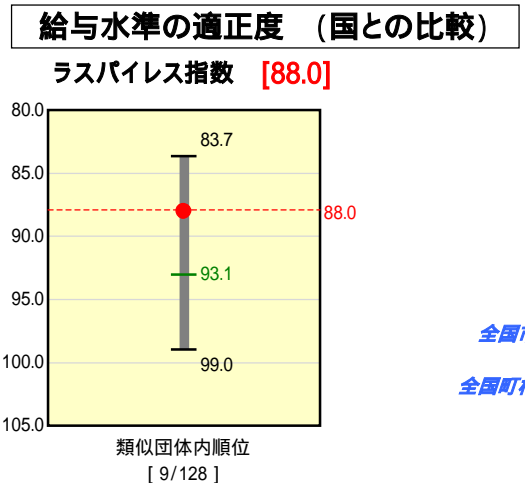
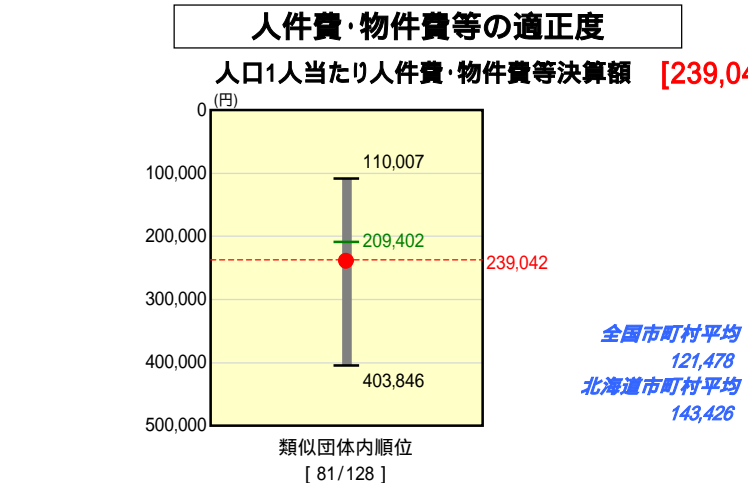
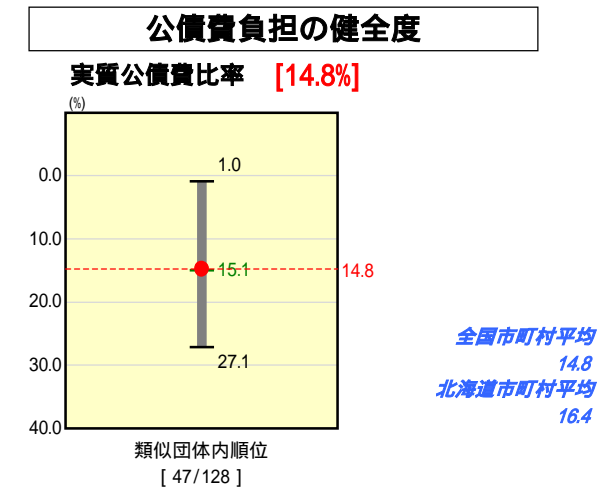
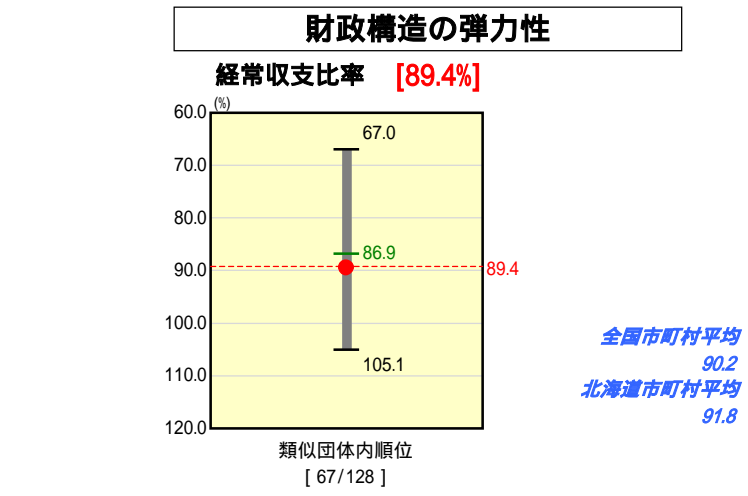
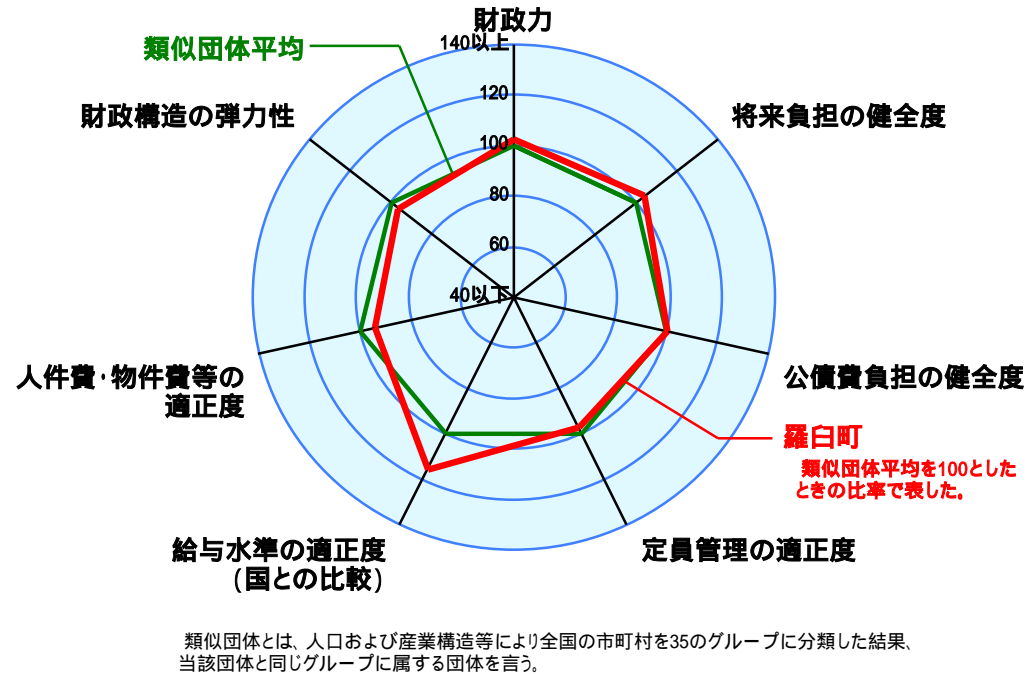
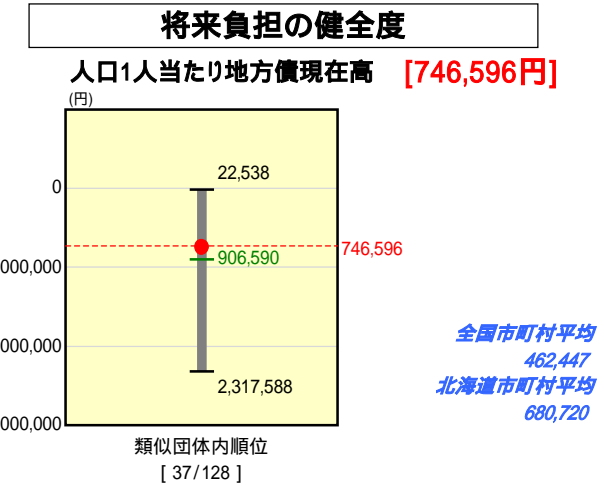
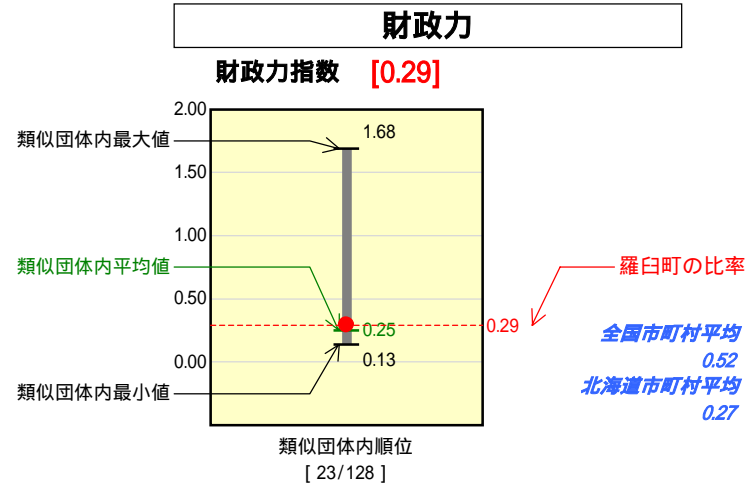


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

北海道 羅臼町

人口	6,554	人(H18.3.31現在)
面積	397.87	km ²
歳入総額	4,018,113	千円
歳出総額	3,933,774	千円
実質収支	84,339	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 前年度に比べ地方税の税収が増加したこと、歳出における人件費の削減、投資的経費の抑制等により0.29と類似団体平均を上回っている。今後も更なる歳出の圧縮をするとともに、滞納額の整理や徴収業務の強化に取り組む。

経常収支比率: 経常収支比率については、89.4%と前年度の100.5%と比べ11.1ポイントの減となっている。この要因として人件費や物件費、公債費等の義務的経費の大幅な減額があげられる。(人件費 127,951千円、物件費 50,407千円、公債費 52,771千円)今後も義務的経費の節減に努め、類似団体平均を目指す。

ラスバイレス指数: 給与の独自削減(本俸5%削減、役職加算凍結、勤勉手当0.6ヶ月削減)の実施により5.8ポイントの減となっている。今後も羅臼町自立プランの計画に基づき給与の適正化に努めていく。

実質公債費比率: 近年は小学校建設等により上昇傾向であるが、過去からの起債抑制により類似団体平均並みとなっている。今後も必要最低限の事業に絞込み、起債の抑制に努める。

人口1人当たり地方債現在高: 近年小学校建設等の大規模事業があり起債現在高もピークをむかえたが、過去からの起債抑制により現在においても類似団体平均を下回っている。今後も類似団体平均の水準を保つよう起債の抑制に努める。

人口1,000人当たり職員数: 現在は15.41人と類似団体平均を上回っているが、今後は自立プラン等に基づき早期退職制度や、退職者の一部不補充により、職員数の適正化に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 類似団体平均に比べ高くなっているのは、主に人件費が要因となっている。今後は自立プランに基づいて人件費の抑制に努める。(H16年度決算から20%の削減)